

木曾川右岸道路川向工区開通式 あいさつ

本日令和2年師走初めの日曜日に、大勢の方にお集まりいただく中で、木曾川右岸道路川向工区が約1.8kmにわたって供用開始となります事に際し、ひと言ご挨拶を申し上げます。

只今は、宮司様により通行の安全祈願の神事を厳粛に執り行って頂き誠にありがとうございました。

さて、本工区が平成18年度に着手以来、長年にわたって事業主体である長野県、実行機関である木曾建設事務所はじめとする関係機関の皆様、貴重な土地を提供いただいた地権者の皆様や工事中は何かとご協力をお願いした地元関係者の皆様、難工事を施工していただいた建設業者の皆様、そのほか大勢の皆様のご尽力と熱意によって、ここに無事完成の運びとなりました。皆様のお蔭で立派に完成に至ったことについて深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。木曾川右岸道路工事がこのように大きく進展しましたことは、地元は勿論、木曾地域全体の喜びとなるものであります。

言うまでもなく木曾川右岸道路は、国道19号の代替道路としての役割を期待されている、地域にとっても或いは長野県にとっても極めて重要な道路であります。

平成26年7月の豪雨災害では、川向工区のちょうど対岸となる梨子沢に蛇抜けが発生し、木曾川左岸では国道から町道まで全ての道路が通行不能となったために、迂回路・緊急路として、この川向地区の狭い町道が大混乱となったことから、一日も早い開通が待ち望まれていたところであります。今回の供用開始はまさに地元にとっては、待望の開通であり、喜びもひとしおであります。今後とも木曾川右岸道路の整備により、地域住民が安心安全で快適な生活を営むとともに、木曾地域発展の礎となることが期待をされています。引き続き、現在計画されている国道19号への接点となる高瀬橋の整備と南木曾町戸場～大桑村阿寺を結ぶトンネル工事の促進、さらには田立区間までの先線ルートの決定をして頂き、私達地元も出来ることをして後押ししながら、一日も早く木曾谷の悲願である全線完了となる事を心からお願い致します。

結びに、本日もご列席の皆様のご健勝と木曾地域ならびに関係各位のご隆盛をご祈念申し上げますながら、お礼方々喜びの声を兼ねた地元代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(令和2年12月6日 木曾川右岸道路川向工区式典会場にて)